

若者の「働く」「暮らす」を応援！ ～UIターン・就職・転職を考える若者へ、広島での多様な選択肢を提案～ 広島で輝く5名のアンバサダーが登場！ 本音で語り合う meet up イベントを開催

広島県では、就職・転職・起業・Uターン・Iターンなど、これからの働き方や暮らし方を考えている、特に若者に向けて、様々なやりたいこと、働き方が、「広島でできる」というメッセージを伝える「それ、広島で。」キャンペーンを昨年12月から展開しています。

このたび、就職活動や転職を考える時期にあわせ、広島で暮らすことを選んだ5名のアンバサダーと大学・短大生や第二新卒層の方が、広島県で「働く」「暮らす」ことについて語り合う meet up イベント「それ、広島で。」を令和8年2月27日にイノベーション・ハブ・ひろしま Camps(広島市中区紙屋町)にて開催します。

本イベントでは、アンバサダーの経験談や参加者との対話を通して、広島での多様な働き方やライフスタイルを提示し、若者たちが自身の可能性を広げるきっかけを提供します。若者のリアルな声や悩みに触れていただき、広島と若者の未来を考える貴重な機会を是非ご取材ください。

(1)日時: 令和8年2月27日(金) 1部: 11:00～14:00 / 2部: 16:00～18:40

(2)会場: イノベーション・ハブ・ひろしま Camps(広島市中区紙屋町)

(3)内容

- 「それ、広島で。」アンバサダー5名の自己紹介
- トークセッション
- ワークショップ、発表
- 交流会
- 質疑応答

(4)登壇者

「それ、広島で。」アンバサダー5名

(5)参加対象者

大学生、短大生、専門学生、第二新卒

(6)取材について

- 取材をご希望の方は、当日会場に直接お越しください。
※なお、会場が狭く取材スペースに限りがあるため、可能であれば事前にご連絡ください。
- 入室は10時45分からです。当日は駐車場の用意はありません。お近くのコインパーキングを利用してください。取材される方は、記者証を持参のうえ、腕章を着用し報道機関関係者であることが分かるようにしてください。
- Camps会員のスペースには立ち入らないでください。(会場は貸し切りではありません)
- イベント終了後アンバサダー5名に取材が可能です。
- なお、参加者への個別取材は本人の許可を得て行ってください。
- 会場での電源等の使用はできません。

みんなの「それ、広島で。」を知り、
私の「それ、広島で。」を考える

meetup
イベント それ、広島で。

広島県での就職や働き方、
暮らし方を考える人へ。

開催日:2026年2月27日(金) 午前・午後の2回開催
場所:イノベーション・ハブ・ひろしま Camps

大学生・
短大生・
専門学校生・
第二新卒の方
対象

<イベントの概要>

開催日程	2026年(令和8年)2月27日(金) 1部:11:00~14:00/2部:16:00~18:40
会場	イノベーション・ハブ・ひろしま Camps(広島市中区紙屋町)
登壇者	「それ、広島で。」アンバサダー5名
趣旨	参加者とアンバサダーと一緒に広島県での「働き方」「暮らし方」について語り合い、考えるイベント
来場特典	Camps 会場参加者には、アマゾン e ギフト(デジタルタイプ)2,000円をプレゼント(条件あり) 広島県外の大学・短大・専門学校に在籍中の方には、交通費の半額相当(上限・条件あり)を支給
募集対象	大学生・短大生・専門学校生・第二新卒の方
定員	Camps 会場:各部 50名(先着順) ライブ配信(Zoom):各部 250名(先着順)
参加費	無料
受付期間	2026年(令和8年)2月25日(水)まで

[イベント詳細・申込みページ]

URL:<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/sore-hiroshima-de/meetup.html>



(参考) 当日参加の「それ、広島で。」アンバサダー5名

宇野木 日向子さん(うのき ひなこ)さん 広島市在住 株式会社 Relic 広島支店支店長



地元を基礎から創る、イノベティブな働き方がある。

大学で地域創生を学び、新規事業開発・イノベーション創出支援を専門とする株式会社 Relic に入社。東京本社で経験を積んだ後、広島拠点立ち上げに手を挙げ支社長として U ターン。直感を正解へと変える行動力を強みに、地域の企業の事業伴走を担いながら、広島で自らの事業創出にも踏み出そうとしている。

上平 静里奈(うえひら せりな)さん 呉市在住 会社員



大切な人がいる。愛着と安心はずっとここにある。

大

大学進学で東京へ渡り、再び地元で一般企業の営業職の道を選んだ(U ターン)。人生設計に寄り添う仕事を通じて、大切な人との時間を守りながら働くという価値観を実践している。自分のペースで生きられる環境と、家族がそばにいる安心感。その両方を叶えられる場所として、広島を選び続けている。

横山 誠人さん(よこやま まこと)さん 呉市在住 観光農園経営



守りたい家族や土地を、未来へつなぐ環境がある。

東京・横浜で大手外資系製薬会社での営業経験を経て、生まれ故郷の下蒲刈島で観光農園とカフェを営む道を選択(U ターン)。挑戦には責任が伴うことを知りながら、島の魅力を“訪れる体験”として届けている。環境課題や地域の未来に向き合い、食と農業を通じて次世代に価値をつなぐ仕組みづくりに挑んでいる。

佐藤 洋輔さん(さとう ようすけ)さん 県外出身 広島市在住 株式会社モルテン勤務



あなたの一歩を、世界へつなげる企業がある。

www.molten.com

九州の大学を卒業後、バスケットボールとモノづくりへのこだわりをきっかけにモルテンへ入社。現在は技術開発部の課長として、世界の試合球づくりや新規プロダクト開発に挑戦している。自ら携わった製品が世界中のコートに届く瞬間は、広島で働く誇りとモノづくりの使命を改めて実感させてくれる。

松本 美樹(まつもと みき)さん 福山市在住
いろはクリエイティブデザイン株式会社 MixingDesign 代表(IT コーディネーター)



ITやDXを推進し、バックアップする環境がある。

www.mixingdesign.com

デザインを入り口にITの道へ進み、行政や地元企業と連携しながらデジタル化を支援する“通訳役”として活動。東京案件と地元での暮らしを両立させ、難しいITを身近なツールへ変換している。福山という拠点を軸に、地域の働き方と未来をやさしくアップデートしていく存在。

○「それ、広島で。」これまでの取組状況

1 広告配信等(令和7年12月23日(火)から1月18日(日)まで)

項目	内容												
SNS 配信	<p>○Instagram、X、TikTok、YouTube 等を通じた配信</p> <p>広島県内で生き生きと活躍している5名の県民の方(以下、「アンバサダー」という。)に出演協力いただき、その等身大の姿(動画・画像)の配信を通じ、「広島で働くこと」、「広島で暮らすこと」への関心を高める。</p>  <table border="1" data-bbox="406 761 1356 952"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標(2月末時点)</th> <th>実績(1/18時点)</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リーチ数</td> <td>6,170,000人</td> <td>8,252,134人</td> <td>133.7%</td> </tr> <tr> <td>特設サイト 流入数</td> <td>50,000人</td> <td>41,612人</td> <td>83.2%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標(2月末時点)	実績(1/18時点)	進捗率	リーチ数	6,170,000人	8,252,134人	133.7%	特設サイト 流入数	50,000人	41,612人	83.2%
項目	目標(2月末時点)	実績(1/18時点)	進捗率										
リーチ数	6,170,000人	8,252,134人	133.7%										
特設サイト 流入数	50,000人	41,612人	83.2%										
屋外 広告	<p>○デジタルサイネージ 広島駅、福山駅、広島空港に掲示(12/23~1/31)</p> <p>○ポスター 広島電鉄中吊り、アストラムライン、福山駅、商業施設、大学、公共施設(県・市町)等に掲示(12/23~)</p> <p>○ファミマビジョンによる掲示(12/30~1/26)</p>												

2 知事とアンバサダーによる座談会

日時	令和8年1月30日(金)11:00~11:40
場所	叡啓大学
内容	知事とアンバサダーによるパネルディスカッション及び傍聴している若者との交流等
参加者数	12名
参考	<p>【開催報告】1月30日(金)「それ、広島で。」アンバサダーと横田広島県知事の座談会を行いました(叡啓大学HP)]</p> <p>https://eikei.ac.jp/news/11553/</p>